

二〇二三年四月一六日

川下る舟の飛沫や溪若葉	かかし
陣跡の日溜りに春惜しみけり	たか子
風船をひねり忽ち犬つくる	かえる
大の字の火床に古都の春惜しむ	せいじ
大亀のぬつと首出す春の水	あひる
お札所へ落花の磴をのぼりけり	隆松
囀や陣を模したる古戦場	ぼんこ
アベノハルカスが背伸びす春の空	たか子
野ざらしの五百羅漢に春疾風	こすもす
慰霊の碑動物園の春陰に	わかば
花は葉にパンダの檻は空つぽに	わかば
参磴を駆け降りてくる樟落葉	素秀
蒼天へ膨らむごとく山笑ふ	ぼんこ

定例WEB句会みのる選

二〇二三年四月一六日